1925～2025
西宮市100年のあゆみ
NISHINOMIYA
100
100th ANNIVERSARY

100周年　西宮市民の皆さまへ

2025（令和7）年4月、西宮市は市制施行100周年を迎えました。この特別な節目を迎えるにあたり、改めて私たちのまちの歴史や文化を振り返り、そして未来への希望を語り合いたいと思います。西宮市は、文教住宅都市・平和非核都市・環境学習都市としての顔を持ち、市民の皆さまが安心して暮らせる「憩いと安住」の地です。このまちで暮らすことに誇りを持ち、次の世代へと私たちの思いを受け継いでいくことが、私たちの使命であると考えています。

こうして市制施行100周年を迎えられたのは、市民の皆さまのご支援と熱意、そして地域への愛情のおかげです。皆さま一人一人の声や行動が、このまちを支え、豊かにしてきました。皆さまの培ってこられた西宮への思いによって、より良い西宮を築くことができているのです。

西宮市は、長い歴史の中で多くの人々が住み、学び、働く場所として成長してきました。教育やさまざまな文化・スポーツ活動などを通じて、私たちはコミュニティを築いてきました。また私たちのまちには、美しい自然と守り育まれてきた素晴らしい風景もあり、地域の人々が集い、交流できる場所が数多く存在します。人々が生き生きと過ごせるような環境を整え、地域のつながりを大切にし、活発なコミュニティを築けること、市民の皆さまが心穏やかに暮らし、生活の質を高められることこそが、私たち市政運営に携わる者の目標です。

そして私が大切にしている「シチズンシップ」という言葉には、自分のまちについて誇りを持ち、共に支え合い、未来を見据える姿勢が求められています。市民一人一人が自らの役割を理解し、互いに協力し合いながら地域社会を形成していくことでこそ、西宮はさらなる発展を遂げられると思います。特に、次世代を担う子供たちへ、より良いまちを引き継ぐ責任が私たちにはあります。全ての子供たちが安全安心で、多くの愛情を受けながら夢に向かって成長できる環境を整えていかなければなりません。時代が移り変わっていく中で、地域コミュニティも変化が求められていますが、だからこそ、人と人とのつながりを意識し、支え合いながら、未来の希望である子供たちを、市民の皆さまと共に育んでいきたいと思います。

市制施行100周年は、これまでの歴史に感謝しながらも、未来への新たな一歩を踏み出す節目でもあります。

市民の皆さまがこれからもこの素晴らしいまちで安心して暮らし、豊かな時間を過ごすことができるよう、手を取り合い、共に歩んでいきましょう。私たちの西宮が、これからも皆さまの「憩いと安住」の地であり続けることを心より願っております。

改めて、市民の皆さまへ感謝いたします。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

2025（令和7）年4月　　西宮市長　石井　登志郎

市の概要

西宮市は、兵庫県の南東部、大阪と神戸両市のほぼ中間に位置し、南北に長い市域は北部の山地部と南部の平野部に分かれています。豊かな自然や恵まれた地理的条件、交通の利便性、数多くの教育・文化施設など、文教住宅都市としての優れた特性を有しているほか、甲子園球場のあるまちとしても有名です。

古くから門前町や宿場町として栄え、伝統産業である酒造は江戸時代に「宮水」が発見され、「灘の生一本」として全国に知られるようになりました。

平成7年には、阪神・淡路大震災により壊滅的な打撃を受けましたが、その後の懸命な復興により、今では人口が48万人を超えるなど、まちはこれまで以上の賑わいをみせています。

地　形

＜位置＞ 北緯 34°44'04"　東経 135°20'40"（市役所）
＜面積＞ 100.18km²　東西 14.3km　南北 19.1km

人口・世帯数　（令和7年2月現在）

＜総人口＞ 481,956人
男性 223,234人　女性 258,722人　世帯数 221,773 世帯

市のシンボル

市　章

「西」を篆書で真ん中に表示、「宮」をカタカナの「ヤ」3つで組み合わせ「西」を囲んで表しています。
1926年（大正15）年制定

市　旗

白地に赤と緑で「に」をデザイン。
赤が太陽と幸せ、緑が六甲の自然で「緑と幸せのまち」を象徴しています。
1970年（昭和45）年制定

市　花　さくら

市制40周年記念に市民から公募。夙川公園や満池谷など、さくらの名所が市内に多いことなどから選ばれました。
1965年（昭和40）年制定

市の木　くすのき

市民と市が一体となり緑化を進めていくためのシンボルとして、市民から公募しました。
1978年（昭和53）年制定

西宮市100周年記念事業の取り組み

たのしみや、にしのみや

100周年記念イベントで盛り上がろう！

詳しくはこちらのページをご覧ください。

市内のさまざまな方が「まちなかにぎわいパートナー」として、100周年をともに祝い、ともに盛り上げていくイベントを随時行っています！

ロゴマーク入りのグッズも続々登場！

100周年のロゴマークやキャッチフレーズを使ったオリジナルグッズや、おなじみの商品の100周年パッケージも登場。
お見逃しなく！

詳しくはこちらのページをご覧ください。

西宮市100周年ホームページ

または

西宮市100周年 検索

西宮市100周年のホームページです。100周年を記念するイベントやグッズの紹介をはじめ、西宮市100周年に関する様々な情報を発信しています。

みんなで楽しめる100周年記念誌（電子版）

©阪神タイガース

100周年記念誌は、多くの方が楽しめるようにWeb上で公開し、どなたでもご覧になれます。たくさんのお祝いメッセージや、みんなが思う西宮市の魅力の紹介、さらに子供たちにスポットを当てた企画など、老若男女が楽しめる内容となっております。詳しくは上記の西宮市100周年ホームページをご覧ください。

西宮市公式インスタグラム

@nishinomiyacity_official

詳しくはこちらのページをご覧ください。→

西宮の多彩な魅力を再発見できるアカウントです。100周年のイベント情報も発信していますのでぜひフォローお願いします。インスタを通じて一緒にまちあるきをしましょう！

まちなかにぎわい事業推進補助金

市民団体や事業者などが主催する「100周年記念事業」を補助する「まちなかにぎわい事業推進補助金」の申請を受け付け中です。また、次の100年に向けた新たな取り組みとして、補助が決定した事業ごとに「ふるさと納税型クラウドファンディング」を実施します。気になる事業を応援して、一緒に盛り上がりましょう！
（申請は2025年9月30日締切）
※全提案事業の補助金合計額が予算額の上限に達した場合も、募集締め切りとなります。

詳しくはこちらのページをご覧ください。

企画・制作　西宮市政策推進課　周年事業チーム（0798-35-3125）

西宮市百年の歩み

1925 西宮市制を敷く（大正14年）

町民の待望を受けて

「仍テ市制ノ実施ハ由来町民一同熱望スル所ニシテ時運ニ適応スルモノト確信ス、茲ニ謂テ意見ヲ上申スル所以ナリ」

国への市制施行の上申書より

初代市長　紅野 太郎

大正14年8月13日～昭和8年8月12日

最初は久保町の旧町役場で業務開始。

1924 水道施設完成

酒造家等からの寄付金を主な財源として

1925 甲子園浜に海水浴場開設

日本初の本格的野球場として

阪神甲子園球場誕生

1926 市章を制定

ダイヤモンドクロスの誕生

西宮北口駅～今津駅の開通により阪急今津線が全通。

1928 市庁舎建設

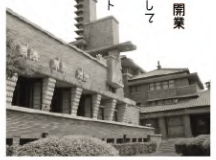
六湛寺墓地跡に

国道2号の開通

西宮市立図書館開館

市庁舎や市立図書館も酒造家からの寄付金を財源として建設されました。

1929 甲子園娯楽場開設（甲子園阪神パークの前身）



1930 昭和恐慌

1930 甲子園ホテル 開業

関西屈指のリゾートホテルとして

鳴尾村の武庫川沿いに開業。

設計はフランク・ロイド・ライトに学んだ遠藤新氏。

1931 満州事変

1932 浜甲子園健康住宅地 開設

1932 浜甲子園阪神パーク 開業

1934 市制10年記念祝賀会

黒らし出される祝賀門・庁舎

1934 室戸台風襲来

1937 日中戦争

1937 夙川公園竣工

1938 阪神大水害 8400戸浸水

1941 太平洋戦争開戦

1943 1945 鳴尾飛行場 開設

1945 阪神大空襲

1945 原爆投下

広島・長崎への原爆投下。

市内で死者486人 重傷者650人、鳴尾村も被害。

空襲直後の市街地　原島吉男撮影（昭和20年8月6日）（公益財団法人白鷹記念酒造博物館所蔵）

1945 太平洋戦争終戦

1945 戦後の復興とまちづくり

1946 日本国憲法公布

1946 西宮市歌制定

中間子論を提唱した当時は京都帝国大学に在住

♪松の緑の西宮 茅渟の浦曲のあけくれに 栄い楽しむ民生の 関りや高鳴る自治の鐘

スマホでよみとると市歌が聞けます

1949 湯川秀樹氏がノーベル賞受賞

日本人として初めて

1950 朝鮮戦争勃発

1952 サンフランシスコ平和条約発効

1954 第五福竜丸がビキニ環礁で被曝

1958 原水爆禁止西宮市協議会が発足

1948 西宮市教育委員会 発足

1950 阪神間で最初の 独立館として 鳴尾公民館が開館

1951 第1回 中学校連合体育大会

1953 テレビ 本放送 開始

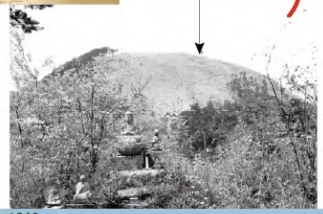
1933 神戸女学院 岡田山キャンパスに移る

1937 阪急西宮球場開場

1934 1929 関西学院大学開学 神戸から上ケ原台地に移転

1942 西宮商工会議所設立

1946年の山火事から約10年後の甲山（写真は昭和30年代）



1949 武庫川学院女子大学開学

1950 聖和女子短期大学開学

写真は1934年撮影

＜市域の変遷＞

1933 合併 今津町・芝村・大社村

1941 合併 甲東村

1942 合併 瓦木村

1951 合併 鳴尾村・山口村・塩瀬村

へぇー！そうなんや！

知られざる歴史のひとこま

年表に記載されたできごとにまつわる「へぇー！そうなんや！」なこぼれ話を紹介するコーナーです。

さらに！

詳しい歴史資料や写真を見たい方はにしのみやデジタルアーカイブ（リニューアル版）がおすすめです。

1928 市庁舎建設

市庁舎は共同墓地の跡地に建てられ、墓石等は満池谷墓地へ移転しました。庁舎と墓石が併存している写真。

1932 浜甲子園阪神パーク開業

阪神パークは元々、浜甲子園（現在の浜甲子園運動公園のあたり）で開業しました。第二次世界大戦を経て、甲子園八番町・九番町（現在のららぽーと甲子園のあたり）に移転しました。今も、浜甲子園の浜辺には当時の施設のコンクリートの残骸が残っています。

1934 市制10年記念祝賀会

辻々に紅白のまん幕や提灯、桜の造花が華やかに飾られ、役所前には余興場を建てて催し物が行われたり、夜には各地区の屋台が練り歩くなど、大騒ぎでした。

1963 文教住宅都市宣言（昭和38年）

1970（昭和45年）

1983 平和非核都市宣言（昭和58年）

1960 西宮市が西宮沖埋立計画と日石誘致を発表

市長は御前浜沖に石油コンビナートの誘致を発表しました。しかし、世論は「住宅都市としての性格を継続するべき」という意見と「工業化のまちへと転換するべき」という意見に大きく二分されました。結果、1962年（昭和37年）、市民や学識者、漁協関者をはじめとした環境保護を訴える多くの声により、石油コンビナートの誘致計画は白紙撤回されることに至りました。このことが一つの契機となり、翌1963年（昭和38年）に「文教住宅都市宣言」へのきっかけとなりました。

石油コンビナート誘致論争

1962 日石誘致白紙撤回表明

市議会で日石誘致の方針を承認可決する。議場外では市民大会が開かれ約二千人の参加者が気勢をあげる

昭和30年代の御前浜

1963 文教住宅都市宣言

1954 西宮十二景が選定

1957 第1回小学校連合体育大会

1959 甲子園阪神パークで新マスコット「レオポン」が誕生

1961 スポーケン市（アメリカ）と姉妹都市提携

1962 堀江謙一氏が単独無寄港太平洋ヨット横断に成功

1962 西宮港から出航した（国道43号）

1963 第二阪神国道開通

1964 名神高速道路 西宮～尼崎間開通

1964 聖和女子大学 開学

1964 甲子園短期大学 開学

1965 夙川学院短期大学 開学

1966 大手前女子大学 開学

1964 東海道新幹線開通

1964 東京オリンピック

1965 西宮市花「さくら」を選定

翌年からさくら祭り開催

1965 市民体育館（現・中央体育館）開館

1965 老人大学を開設（西宮市生涯学習大学「宮水学園」の前身）

1967 市民会館・勤労会館 開館

1968 イタイイタイ病初めて公害病認定

1969 アポロ月面着陸

1970 大阪万博（EXPO'70）開催

大阪千里丘陵にて

1970 市民憲章と市旗が制定される（市制45周年記念）

1971 市役所新庁舎が開庁

1971 夙川オアシスロード設置

1972 沖縄返還

1972 岡山まで山陽新幹線開通

1972 西宮市大谷記念美術館 開館

1972 兵庫医科大学開学

新旧市庁舎が写る珍しい写真

1973 第一次石油ショック

1973 第1回 にしのみや市民祭り 西宮市芸術祭

1975～77 阪急ブレーブス3年連続日本一

1976 第1回 市民音楽祭

1977 ロンドリーナ市（ブラジル）と友好協力都市締結

1978 市の木に「くすのき」を制定

1978 山口町に阪神流通センター竣工

1978 甲子園浜の干潟が鳥獣保護区に指定

1978 目神山に建築家石井修氏自邸「回帰草庵」竣工 その後、景観重点地区・甲陽園目神山地区となる（2011）

1979 村上春樹「風の歌を聴け」で群像新人文学賞を受賞しデビュー

1979 コミュニティ誌「宮っ子」創刊

1981 鹿児島県名瀬市（現奄美市）と友好都市提携

1982 若竹生活文化会館開館

1982 北山緑化植物園 開園

1983 平和非核都市宣言

1985 阪神タイガース優勝。初の日本一

平和への願い

1985 総合福祉センター開設

1985 教育文化センター開設（中央図書館・郷土資料館・市民ギャラリー）

1985 紹興市（中国）と友好都市提携

1986 国鉄西宮名塩駅開業

1987 北山山荘完成

1988 万葉植物苑（西田公園内）開苑

1988 なるお文化ホール（西宮東高校ホール）開館

1989 名塩小学校に和紙学習館開館（2002）その後、名塩和紙学習館に

1990 塩瀬センター開設

1991 高知県檮原町と友好交流提携

1991 盤滝トンネル開通

1991 西宮名塩ニュータウン街びらき

1992 ロット・エ・ガロンヌ県及びアジャン市（フランス）と友好都市提携

1994 フレンテ西宮 開業

1994 阪神高速湾岸線開通

1995 阪神・淡路大震災

1956 住居専用地域に指定
甲子園・甲風園・上ヶ原・甲陽園

1958 文教地区に指定（建設省）
上ヶ原

1969 交換
西宮市平左衛門町と尼崎市西昆陽字田近野を交換

1992 「生産緑地地区」

1937 阪急西宮球場開場

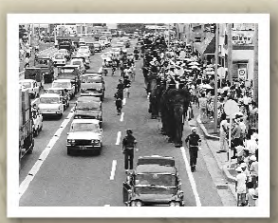
西宮球場は1949(昭和24)年から競輪場としても使用されましたが、走路は移動組立式で、開催の度にグラウンドで板状のバンクを組立て、解体していました。

1949 武庫川学院女子大学開学

武庫川学院は1964（昭和39）年に「五輪の名花」「東京の恋人」と呼ばれて親しまれたチャスラフスカさんなどのオリンピック選手を招待し、国際親善スポーツ大会を開催しました。

1963 第二阪神国道開通

甲子園球場周辺ではレジャー施設があり、季節を問わず多くの人々が行き交うことから高架構造となりました。高架下を阪神甲子園線の路面電車も走っていました。



1970 大阪万博開催

万博の開催に合わせて、ホテルや高速道路が整備される中、西宮市内でも国道171号が拡張され、タイ国から万博へ出演するゾウが行進していきました。

1971 市役所新庁舎が開庁

新市庁舎を建設するにあたり、地上で建設した建物を底から土を掘りだして沈下させる「潜函工法」という当時、最先端の技術で建てられました。これにより、工事敷地の節約、精度の高い施工、騒音振動の減少につながりました。

1973 にしのみや市民まつり

この年に青年会議所の特別事業として第1回にしのみや市民祭りが開催されましたが、この20年前にも市と商工会議所が一緒になって「西宮まつり」を開催していました。仮装行列や、当時市内に住んでいた森光子や藤田まことらによる「市内有名人芸能大会」なども行われました。(1958年に終了)。

1991 西宮名塩ニュータウン街びらき

名塩ニュータウンには駅と住宅地を結ぶ高低差約60mの斜行エレベーターがあります。平成6年には自然豊かな美しい景観を生かした街づくりが評価され、建設省都市景観大賞100選に選ばれました。

1995 阪神・淡路大震災（平成7年）

1995年1月17日（火曜日）午前5時46分
マグニチュード7.3（激震）
日本ではじめての近代的な大都市における都市直下型の大地震。
一瞬にして阪神・淡路地域に大きな被害をもたらし、西宮市も広い範囲にわたって壊滅的な打撃を受けました。

1997 「京都議定書」採択

地球温暖化防止京都会議で

1998 西宮震災記念碑公園 開園

1998 さくらFM 開局

地域FM局「西宮コミュニティ放送」

1998 西宮マリナパークシティ（西宮浜）街びらき

1999 西宮市貝類館 開館

2000 プレラにしのみや 開業

2001 子育て総合センター 開設

2001 アクタ西宮 開業

2002 甲子園浜自然環境センター 開設

2003 環境学習都市宣言

将来に対して持続可能なまちづくり

2003 みやっこキッズパーク開設

2004 甲子園阪神パークの跡地にららぽーと甲子園 開業

2005 兵庫県立芸術文化センター 開館

2005 環境学習サポートセンター 開設

2006 環境学習の取り組みが「循環・共生・参加まちづくり表彰」（環境大臣賞）受賞

2007 JR さくら夙川駅 開業

2008 山手幹線が市内全通

2008 中核市に移行

2008 阪急西宮ガーデンズ 開業

2009 甲南大学が西宮キャンパス設置

2009 さくらやまなみバス 開業

山口センター開設

2010 平和市長会議に加盟

2011 みやたん誕生

西宮まちたび博キャラクターとして誕生。

© たかいよしかず

2011 宮城県南三陸町・女川町等との間で「東日本大震災に係る災害応援活動に関する協定」締結

2012 甲陽園目神山地区が都市景観大賞受賞

2013 ひょうご西宮アイスアリーナ 開業

こども未来センター

2014 アスレチック・リエゾン西宮 発足

athletic liaison nishinomiya
アスレチック・リエゾン・西宮

2015 西宮市立こども未来センター 開設

スポーツを通じたまちづくりをすすめる

2017 宮水保全条例 制定

日本酒造りに欠かせない

2017 東六甲石丁場跡が国史跡に指定

（徳川大坂城建設のための）

甲山に今も残る大石

2020 コロナウイルスCOVID-19の感染が拡大

甲山森林公園内

2020 西宮浜義務教育学校 開校

2020 市内初の小中一貫校、西宮市立総合教育センター付属

屋上ヘリポート

2021 市役所第二庁舎（危機管理センター）開庁

2020 関西学院周辺を景観地区に指定

2020 日本遺産認定

「伊丹諸白」と「灘の生一本」
下り酒が産んだ名醸地、伊丹と灘五郷

2021 文教住宅都市宣言60周年 平和非核都市宣言40周年 環境学習都市宣言20周年

2023 阪神タイガース38年ぶりの日本一

2023 阪神甲子園球場100周年

2025 西宮市制施行100周年

復旧・復興に向けて

1995
- 全ての避難所を閉鎖
- 応急仮設住宅の全てが完成
- 西宮北口駅北東地区震災復興第二種市街地再開発事業
- 西宮北口駅北東地区土地区画整理事業
- 森具震災復興土地区画整理事業

1996
- 耐震補強して西宮大橋完全復旧

西宮浜マリナパークの経緯

1971 西宮浜 埋め立て工事着手
1983 西宮浜 建築完成
1991 「西宮マリナシティ計画」事業計画を承認
1995 バブル経済崩壊
西宮浜のリゾート地計画
阪神・淡路大震災
1998 西宮マリナパークシティ街びらき
リゾート地から「住宅を中心としたまちづくり」に方針転換
西宮浜に仮設住宅建設

の都市計画決定

1999 西宮市貝類館 開館

日本貝類学会創設者の黒田徳米博士が集めた「黒田コレクション」などが展示されています。建物の設計は安藤忠雄氏です。

2000 プレラにしのみや 開業

「プレラ」は、楽しみ、喜び、満足などを意味する英語「プレジャー（Pleasure）」と、そこ、あそこを表すフランス語「ラ（la）」を合わせた造語です。

2001 アクタ西宮 開業

「アクタ」は「アクティブ・タウン（活気ある街の意味）」の造語です。

2005 兵庫県立芸術文化センター 開館

県立芸術文化センターのあたりには、以前は北口団地が広がっていました。1948（昭和23）年、当時としては高層の4階建て県営住宅が建てられたのがはじまりで、阪神間では初めての団地でした。その後も1961（昭和36）年までに社宅や官舎など51棟の団地が建ちました。

2012 甲陽園目神山地区が都市景観大賞受賞

その昔、甲陽園一帯330ヘクタールの範囲は、クラブ・遊園地・歌舞伎劇場・植物園などを設ける郊外レクリエーション地域「甲陽園」として発展しました。
これは当時の甲陽園の様子を描いた絵ハガキです

2021 市役所第二庁舎開庁

第二庁舎が建設される前は、主に教育委員会の部署が入る会館ビルが建っていました。会館ビルには一時、市議会の議事堂も増築されていました。